

3月・4月の管理ポイント



株式会社 トモグリーンケミカル

第167号 2021年3月1日発行
当社WEBサイトにてバックナンバー掲載中
<http://www.tomo-green.com/>

今年の冬は非常に乾燥した冬となりました。春になると気温が上がりベントグラスの生育期を迎えますが、冬の乾燥は春の生育ムラや夏のドライスポットの原因となってしまいます。界面活性剤などで土壤環境を改善し、万全の状態ベントグラスの生育期を迎えましょう。

また池をきれいな状態に保つため、アオコなどの成長が始まる前から対策をしていきましょう。



池の水質改善に

セラクリーン

セラクリーンは、池に散布することで水中の悪臭原因物質を吸着し拡散を防ぎます。またカルシウム等のミネラル分をゆっくりと放出して水質の悪化(酸性化)を防ぐことで、池の水質浄化に優れた効果を発揮します。即効性の粉タイプと遅効性の顆粒タイプがあります。

使用量： 5~10袋(100~200kg)/1,000㎡ 5~10袋(100~200kg)/ 水1,000トン



池の水をきれいなブルーに

ワラーブルーL

池がきれいなブルーになりコースの景観が良くなります。ワラーブルーLに含まれる2種類の色素で、水生植物(アオコなど)の光合成に必要な光(430nm、630nm)を遮り、増殖を抑えます。増殖が始まる前からの使用が効果的です。安全性の高い食用色素を使用しているため、着色した池の水を芝生への散水や薬剤散布にも利用できます。

使用量： 500ml/ 水500トン



土壤水分環境を整えましょう

レボ・プライマーセレクト

今年の様な非常に乾燥した冬には、土壤の乾燥が予想されます。冬の乾燥は、春の立ち上がりの遅れや夏のドライスポット発生の原因となってしまいます。乾燥し撥水性を持ったしまった土壤は、界面活性剤を処理することで土壤水分を適度に改善することが可能です。撥水性を軽減し土壤水分を低めに保ちたい場合はレボ、高めに保ちたい場合はプライマーセレクトがおすすめです。

使用量： 2ml/㎡/月 散布水量：200ml~500ml/㎡ 散布回数：1ヶ月に1回~2回



ドライの予防と治療

ハイドレーターG

乾燥が気になる部分にスポット処理しやすい、粒剤タイプの界面活性剤資材です。ドライスポットの予防と治療にご使用下さい。降雨前に散布し、後散水の手間を省く省力散布がおすすめです。1mm程度の粒剤なので、粉が舞いにくく散布しやすい剤です。安全性が高いので安心してご使用頂けます。花壇や鉢植えにもご使用頂けます。

グリーン・ティー 使用量:ドライスポットの治療 20g/㎡/週 予防10g/㎡/月

バンカー周り・クラブハウス周辺の芝地等 使用量:10g/㎡/月

花壇・鉢植え・プランター 使用量:約10Lのプランターに小さじ1/2/月



タンクミックスにお勧め

グリーンシナジー

グリーンシナジーは根圏土壤の隅々まで水を届ける働きがあるので、肥料、ミネラル、糖、アミノ酸などと混用すれば、水と一緒に養分も根圏の隅々まで行き渡ります。与えた養分を無駄なくベントに届けるには、グリーンシナジーのご使用がお勧めです。経済的な資材なので、散布の度にご使用頂けます。

使用量： 1~2ml/㎡/月 散布水量：100ml~1ℓ/㎡ 使用方法：資材の散布時にタンクミックス



サッチの除去
土壤環境の健全化

サッチクリーナー

サッチ成分のセルロース・ヘミセルロースを分解する酵素を主成分とした、酵素タイプのサッチ分解剤です。酵素そのものを散布するため即効性に優れており、サッチ分解量をコントロールすることが可能です。液剤であるため取扱いやすく、フィルターに詰まりません。農薬との混用も可能です。気温が上がり微生物の活動が活発な時期になるので、微生物タイプのサッチ分解剤「サッチ・マネージャー」もおすすめです。

使用量：グリーン0.2ml/㎡ ラフ・FW・Tee0.1-0.2ml/㎡ 散布水量0.2-0.5ℓ/㎡



病害予防に

グリンオキシラン水和剤

グリンオキシランは有機銅とキャプタンが有効成分の防除剤です。着色入りで希釈液が緑色なので、散布した後の葉が黄色くならず、美観を損ないません。幅広い病害に効果があり、更新作業後の保護殺菌としてお勧めです。

使用量：ベントグラス_希釈倍率300-500倍 1-2ℓ散布/㎡ 日本芝 希釈倍率500倍 1-2ℓ散布/㎡

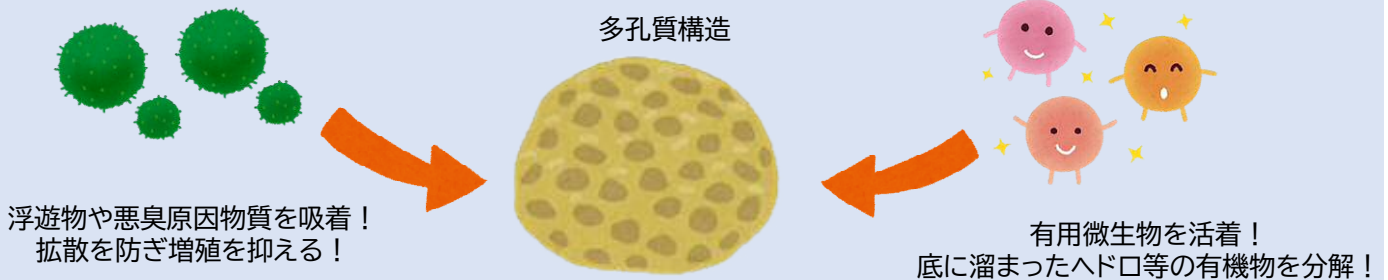
ゴルフ場の池は刈りカスや落ち葉、肥料等が流入しやすい環境にあります。これらが池の底に堆積すると、腐敗・ヘドロ化やアオコの発生等を引き起こす原因となって悪臭が発生し、コースの景観も悪くなってしまいます。

春になり気温が上がると水生植物や微生物が活性化し、池の状態が悪くなりがちです。そこで今回は池の水をきれいに保つ資材について紹介します。



吸着タイプ

微細な多孔質構造を持つ物質を使用した資材。
小さな空隙の中に浮遊物を吸着したり、有用な微生物を活着させる効果があります。
原料・・・活性炭、ゼオライト、ケイ酸カルシウムなど



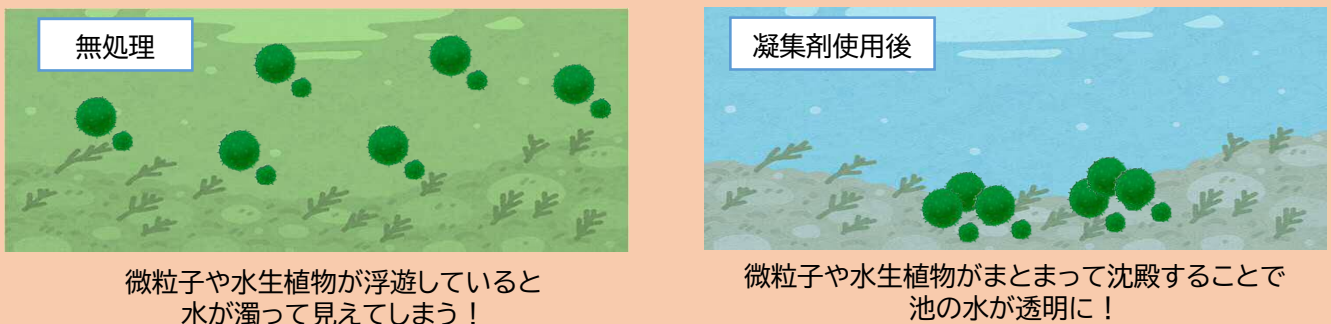
着色タイプ

水を直接着色する資材。池の水を青や黒に着色することで、コースの景観が向上します。
着色する色によっては、水生植物(アオコや藻など)の光合成に必要な光(青色光や赤色光)を吸収し、成長を抑制する効果もあります。
原料・・・食用色素など



凝集タイプ

水中の微粒子や浮遊物を大きな塊にまとめて沈殿させる資材。浄水場などでも使われます。
原料・・・硫酸アルミニウム、硫酸第一鉄など



池に使われる資材にはその他にも有用微生物を処理するタイプ、殺藻剤などがあります。またポンプ等を用いて池の水を対流させることで、池の底に堆積物を貯めない、アオコや藻の生育しにくい環境を作ることも効果的です。